

海外安全対策情報（平成26年10月～12月）

1. 治安情勢

(1) ブリスベン・ゴールドコースト地区

全体的な治安情勢に大きな変化はなく、犯罪発生率は引き続き比較的低い数値で推移しているが、性犯罪、窃盗、薬物事犯の犯罪発生率は日本と比較すると依然として極めて高く、邦人を被害者とする同種事案も散発している。

(2) ケアンズ地区

ケアンズ市及びその近郊は州内においても犯罪率が高い地域であり、州、市議会及び州警察関係者の間でも問題意識が共有されており、警察官の増員やパトロール強化等の治安改善努力が行われている。

2. 一般犯罪の傾向

(1) ブリスベン・ゴールドコースト地区

ア 観光地の駐車場等では、依然として車上狙いが多発している。

イ 深夜、早朝に単独で徒歩通行中に襲撃され、金品を強取される事案が散発している。

ウ 深夜の公園や裏通り等で複数の男性から声を掛けられ、そのまま屋外で強姦される事案が数件発生している。

(2) ケアンズ地区

ケアンズ市及びその近郊では、邦人が被害者となる窃盗等が散見される。また、夜間の単独外出時や就寝時等に被害に遭遇することもあるので、家屋又は及びホテルルームのドア、ベランダ出入り口及び窓等を確実に施錠すると共に、外出中（特に夜間）時は周囲に常に注意を払って行動する必要がある。

3. 殺人、強盗等凶悪犯罪の事例

邦人が関係する事案は発生していない。

4. テロ、爆弾事件発生状況

2014年9月、シドニー及びブリスベン郊外でイスラム過激派関連施設に対する家宅捜索が一斉に行われ、複数の逮捕者が出ている。また、同年12月には、シドニーにおいてイスラム国に影響を受けたとされる人物による人質立てこもり事案が発生している。

豪州政府のテロ警戒レベルは、①Low、②Medium、③High、④Extreme の4段階に分けられており、2014年9月12日には②Mediumから③Highへと上げられた。豪州政府は日常生活では平静を保つよう国民に呼びかけており、過度に心配する必要はないと考えられるものの、報道等を通じてテロ関連情報の収集に努める必要がある。

5. 誘拐、脅迫事件発生状況
邦人が関係する事案は発生していない。

6. 対日感情
一般的な対日感情は概ね良好であり、現在までのところ、日本企業の安全に対する脅威となり得る問題は特段認められないが、反捕鯨や環境問題等に関する抗議活動が散発的に行われていることから、動向に注意を払う必要がある。